

単元名 図をつかって考えよう(2)

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 増えたり減ったりする事象について、変化する量に着目する仕方を理解し、事象を図などに表し、変化する量に着目して、問題を解決することができる。
 (2) 増えたり減ったりする事象について、変化する量に着目するよさが分かる。
 (3) 増えたり減ったりする事象について、変化する量に着目して考えようとする。

標準的な展開例

02040202_001

【準備等】数図ブロック

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 順に考えたり、まとめて考えたりして問題を解く。[p. 114・p. 115]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★子どもが何人になったのかを、いろいろに考えよう。 ○「みんなで考える問題」を読み、場面絵を見て題意をつかみ、いろいろに考えて解く。 ○解き方について話し合う。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>2 3要素2段階の問題を解く。[p. 116]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★まとめて考えるしかたをつかって考えよう。 ○「みんなで考える問題」を読み、減減の問題に取り組む。 ○増増の「練習問題」に取り組む。 <p>3 3要素2段階の問題を解く。[p. 117]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★ふえたりへったりした数をまとめて考えよう。 ○「みんなで考える問題」を読み、増減で増になる問題に取り組む。 ○「練習問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決により、できるだけ一人から複数の考え方を引き出すようにする。 ・増えることと、加法とが結び付かない児童には、数図ブロックを操作して加法を使うことを理解させる。 ・ペア活動をしてよい。 ・問題場面を捉え、2つの考え方で問題を解くようにさせる。 【評】順に考えたり、まとめて考えたりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・児童に場面を想起させて、まとめて考えて解くよさをつかませるようにする。 ・図や数図ブロックなどを用いて、題意をつかませる。 ・何枚使ったことになるかを、まとめて考えさせるようにする。 ・入ってきた車の台数に着目させ、まとめて考えさせるようにする。 【評】変化する量に着目し、まとめて考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・児童に場面を想起させて、差し引きでいくら増えたことになるかを考えて解くよさをつかませるようにする。 ・図や数図ブロックなどを用いて、題意をつかませる。 ・最終的に増えたのか減ったのかを考えさせる。 ・何匹増えたことになるかを、図に表しながら考えさせる。 ・何枚増えたことになるかを、図に表しながら考えさせる。 【評】まとめて考える仕方と問題で問題を解く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【備 考】

本単元は、「しきと計算」の前段階に当たり、変化する量に着目し、3要素の事象を2要素の問題として考える学習である。単元を構想するに当たっては、まとめて考えることで処理しやすくなったことを実感できるように配慮することが大切である。「まとめて考える」思考法は、児童にとって特別な考え方であるので、意図的に強調して指導する必要がある。